

# NJ 素流協 News

平成21年1月25日

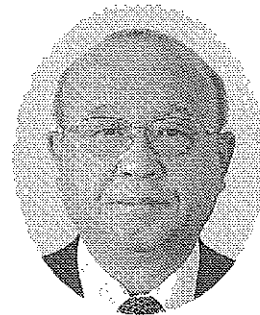
第49号

平成21年1月25日発行・発行所 ノースジャパン素材流通協同組合 〒020-0024 盛岡市菜園1丁目3-6 (農林会館9階)  
TEL 019(652)7227 / FAX 019(654)8533 / <http://www.soryukyo.or.jp/index.html>

## 迎春

ノースジャパン素材流通協同組合

理事長 下山裕司



新年明けましておめでとうございます。  
います。

平成二十一年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

旧年中はノースジャパン素材流通協同組合の事業運営につきまして、組合員および関係機関、関係団体の皆様には多大なるご理解とご協力を頂きまして誠にありがとうございました。

本年もよろしくご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

昨年の後半から、世界の景気が大幅に冷え込み始めましたが、そ

業である自動車、電機、鉄鋼などの業種が推進力となり、内需産業・地場産業的な林業等に景気上昇の波が波及してこなかったということもかもしれません。

の発端となった米国のサブプライムローンの破綻による金融混乱は、あつという間に世界中に拡散して急激な消費の落ち込みが蔓延するという状況にあります。この経済的混乱は始まったばかりであり、平成二十一年は需要低迷が続いてより深刻な状況が予想されるといふ観測がもつぱらであります。実を言いますと、林業に従事する私としては、昨年の夏ごろからとくに林業を取り巻く経済的環境が厳しくなってきたと思っておりますが、一次産業とりわけ林業においては、それ以前でも決して巷間にな言われるような景気がそれほどよいという感覚はありませんでした。

今思い起こしますと、平成十三年・十四年頃には国産材価格の低迷が続き、林業生産活動は極度の停滞を余儀なくされておりました。この当時の林業を取り巻く厳しい環境が、我々を当素流協の設立へ駆り立てる契機となったのであります。今この時に当たって、我々は初心に返つてもうひと踏ん張りしなければならぬと考えるのであります。

昨年十月ごろまで続いたと言われている戦後最長の景気拡大は、外需主導であったことから輸出産

さて、昨年は、素流協にとつて大きな転換点となる事業・事柄がありました。

昨年の十月ごろまで続いたと言われている戦後最長の景気拡大は、外需主導であったことから輸出産

その一つは、七月一日を期して岩手県素材流通協同組合から「ノースジャパン素材流通協同組合(略称: NJ素流協)」に改称するとともに事業区域等を拡大いたしました。

外需主導であったことから輸出産

もう一つは、十月十日に当素流協設立五周年記念式典を挙行いた

しました。

また、平成二十年度事業の重点事項を、①素材の共同販売事業の積極的推進、②素材供給の量的・質的拡大と安定的・継続的供給体制の確立、③組合員の生産活動助長と組合の経営基盤の強化、④環境の維持増進を目指した森林資源の有効活用方策への取り組み、の4項目として事業実行に当たっての指針としたところであります。

先に述べましたNJ素流協の転換点となる二つの事業・事項が意味することは、素流協にとって創設以降五年間が事業展開における第一ステージとして、いわゆる組織・事業についての「整備と定着化の時期」であり、二十年度以降は第二ステージとしての「飛躍の時期」と位置づけたいと考えます。

国産材時代の到来を言うのは、早計であり危険でもあります。

真の国産材時代を迎えるためには、解決しなければならぬ課題が幾つもあります。一つひとつ挙げることはしませんが、大局的な見地から言えば、森林は経済資源と環境資源としての二つの機能・側面を持っており、それぞれの機能の発揮をどうバランスさせるかということに尽きると考えます。

この基本的な認識に立ったとき、私たちは真の国産材時代に到達するための課題群を総合的に解決する道筋を見出せるのではないでしょうか。

森林が持つ経済資源と環境資源としての双方の機能・側面をバランスさせるときの対象は主として人工林であると考えますが、この人工林への働きかけ、すなわち、《伐採―植栽―保育―伐採》という一連の行為のサイクルを「人工林の森林サイクル」と呼ぶならば、このサイクルを確実かつ永続的に回し続けることが可能になった時

に真の国産材時代に至ったと言えるでしょう。

NJ素流協は、この「人工林の森林サイクル」のかなりの過程(部分)をコーディネート(手助け・調整)できるものと考えております。

まず、組合員の素材生産活動から生産される多様な樹種・品質・規格の丸太等を販売・流通させ、木質系素材として多様かつ有効な活用に努めることにいたします。

次に、伐採事業と跡地への植栽事業の連続化をめざした作業仕組みの確立であります。また、森林整備の過程においては、間伐等から発生する小径・短尺材等の有効活用の方途について積極的にチャレンジしたいと考えております。

これらの事業を遂行するためには、素流協組合員各位の理解と協力が不可欠であります。

また、多様な木質系素材の有効活用については、木材加工業界が国産材についてカスケード利用を含む多岐にわたる利用促進化を積極的に進めることも必要条件であ

ります。

さらには、森林所有者の再造林への理解と意欲と実行が必要であります。その場合、森林再生の超長期性を考えるときあらゆる階層からの支援が大きな手助けとなります。

今後、ノースジャパン素材流通協同組合は、「環境の維持増進を目指した森林資源の活用方策への取り組み」を長期的かつ継続的な基本指針として、真の国産材時代の実現に微力ながら努力を続けてまいります。どうぞ日頃からご愛顧を頂いております。

おります皆様におかれましては、NJ素流協に対しまして本年もよろしくお願い申し上げます。

組合員各位におかれましては、本年も当組合の事業運営につきまして一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年が皆様様にとりまして実り多い一年でありますことをお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

# 伐出用林業機械講座 (1)

長期にわたる木材価格の低迷の中で、林業経営を持続していくためには、林業の各作業において、木材の価値を高めるとともにコストの削減が不可欠である。

また、安全、快適で高能率な森林作業を行う上で、機械化による低コスト作業の実現が必要である。

本講座では、立木の伐倒から製材工場等へ向けて丸太をトラックに積み込むまでの工程に使用される伐出用林業機械と作業システムの基礎的知識について解説することとする。

## 一、素材生産の流れ

素材生産は、立木を伐る(伐倒)、丸太に加工する(造材)、材を集める(集材)の三つの作業の組合せからなっている。

更に、造材は、枝払いと玉伐りに分けられる。また、集材が行いやすいように木を短距離移動させることを木寄せという。

## 二、作業仕組みの種類

「木寄せ・集材」前の作業は林内で行われ、その後の作業は土場(作業スペース)で行われる。

各作業の流れの中で、「木寄せ・集材」をどの段階で行うかによって、素材生産の作業仕組み(集材方式)が図のように区分される。

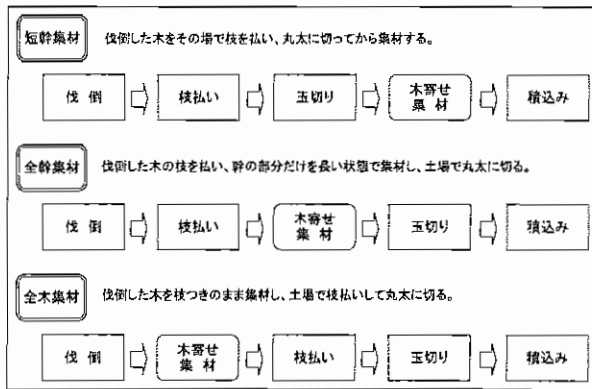


図1 集材方式の種類

土場は、ある程度の広さを持つ平坦地に設置されるので、機械の導入が容易であるが、林内での

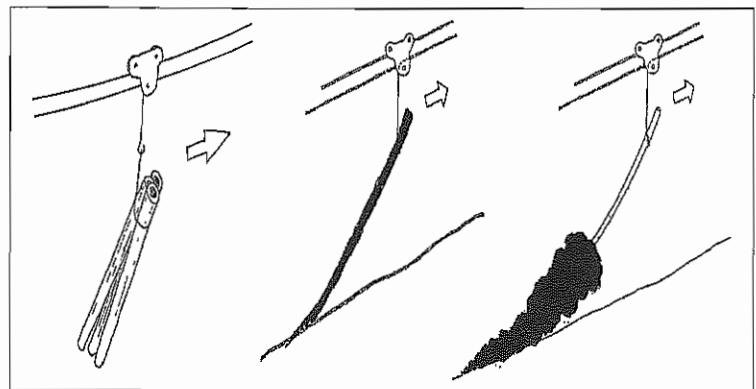


図2 集材の模式図(左から短幹集材、全幹集材、全木集材)

作業は、傾斜や路網からの距離などの地理的条件により機械化が制約される。

## 三、集材用林業機械の種類

我が国の森林は傾斜が緩斜地から急斜地まで様々であり、集材用機械はこのような地形的条件から車両系林業機械と架線系林業機械の二つのタイプに区分される。

緩斜地では、車両系林業機械が用いられ、構造的にタイヤを用い

たホイール式と鋼製やゴム製の履帯(キャタピラ)を用いたクローラ式に分類される。いずれもデコボコ道や林内など整地されていない所の走行に適している。

車両の機能性と林内路網を結びつけた作業の効率性から、現在多く採用されているが、林内路網を高密度で開設しなければならぬことや林地の保全に注意を必要とするものの欠点がある。

一方、車両系の走行できない急斜地では、ワイヤーロープを張ってウインチ(巻揚げ機)により木材を吊り上げて運ぶ架線系林業機械が用いられる。

架線系は架線の設置と撤去に多くの労力を要し、集材作業全体に占める割合が大きくなる場合があることや高い技術と経験が求められること、作業条件によっては作業が重労働となることなどの欠点があるが、路網のない急斜地での集材に適しており、しかも林地に及ぼす悪影響の少ない方法として重要である。

# お詫び

先月号（第48号）新規組合員紹介コーナーで、二戸林業の代表者の氏名が誤っていました。

訂正してお詫びします。

（誤） 田 鎖 政 志



（正） 田 頭 政 志

# 一葉

# 広

# 葉

# 樹

# (4)

### ▽陽樹、陰樹

樹木は光合成により、糖分を生  
成して生育している。

成長は種々の因子によって左右  
されるが、光の明るさがもつとも  
大きな影響を及ぼす。

ある明るさの範囲内においては、  
成長は明るさに比例し、明るい  
成長が良好で、暗いと不良となる。

一方、樹木は呼吸をしており、  
エネルギーを消費している。

光合成で生産するエネルギーが  
呼吸等で消費するエネルギーより  
多いと成長し、等しいと成長が停  
止し、反対に少ないと枯死する。

この等しくなる明るさが光補償  
点と呼ばれ、樹種によって異なっ  
ている。

光補償点が低いほど、暗さに耐  
えることができる。

光補償点の低いもの（日陰に耐  
えるもの）が陰樹、高いもの（日  
陰に耐えないもの）が陽樹、中間  
のものが半陰樹と呼ばれる。

### 耐陰性順位

順位	耐陰性	広葉樹	針葉樹	
1	最も日陰に耐えるもの		ヒバ、イチイ	陰樹
2	日陰に耐えるもの	フナ、ツゲ、ツバキ	モミ、トウヒ、トドマツ、アカエゾマツ	
3	やや日陰に耐えるもの	トチノキ	ヒノキ、サワラ	半陰樹
4	気候条件等により陰性にも陽性にもなるもの	カツラ、ホオノキ、シナノキ、イタヤカエデ、イヌエンジュ	スギ、ヒメコマツ	
5	やや日陰に耐えないもの	コナラ、ミズナラ、キハダ、ハリギリ	チヨウセンゴヨウ	陽樹
6	日陰に耐えないもの	ケヤキ、クリ、ヤマナラシ	アカマツ	
7	最も日陰に耐えないもの	シラカンバ、ダケカンバ	カラマツ	樹

なお、暗さに耐えて生育するとい  
う陰樹の性質は、幼齢の苗木時  
代のみで、大きくなると光を要求  
するようになり、明るいほど成長  
するようになる。

### ▽先駆種、極相種、極相林

火災や倒木などで森林が破壊さ  
れて上木がなくなると、林床は明  
るく、土壌は乾燥した状態となる。

このような林地に侵入（発生）  
できるのは陽樹である。

陽樹の成長は幼齢時代から良好

であることから、間もなく陽樹の  
林となる。

しかし、陽樹林の下層や林床は  
光が不足していることから陽樹の  
苗木は発生や生育ができず、暗さ  
に耐える陰樹が発生、生育してい  
る状態となる。

やがて、上層の陽樹が老齢とな  
り枯死すると、下層の陰樹が伸び

て陰樹の林となる。

陰樹林の下層や林床では陰樹が  
生育できるので、上木の陰樹が枯  
れても下層の陰樹が成長するので  
陰樹の林は継続することとなる。

このような林を極相林、その構  
成樹種を極相種といい、また、裸  
地に一番最初に侵入して旺盛に生  
育する樹種を先駆種という。

### 冗談欄

## アラカンの慈しみ

昨年の流行語大賞は「グ〜」  
と「アラフォー」。

アラフォーとはアランドフォー  
テイの略で、40歳前後の女性を  
さし、自主性が強く、お洒落で  
派手好み、男女雇用機会均等法  
のもとで新しい時代を切り拓い  
てきた反面、そのことが人生の  
転機を遅らせ、将来に対する漠  
然とした不安を持っている。

「アラカン」という言葉もあ  
る。鞍馬天狗の嵐寛寿郎（古〜）  
のことかと思いきや、アランド  
還暦の略で、60歳前後の女性と  
のこと。

アラ還専門の派遣会社もあり、  
接客や苦情処理などの職場で重

宝がられている。

客の応対が巧みで、自然と間  
遣いができ、ストレスを溜め込  
んだ男性を和ませる。

また、仕事は決して早くはな  
いが、責任感が強く、探究心が  
旺盛で、手抜きがなく、若い人  
へのマナーや接客法の手本となっ  
ている。

長い人生経験からかもし出る  
態度や言葉が、人の心に慈しみ  
を与えるらしい。

ところで、我が家のアラ還に  
「おーいお茶」と言ったら、「自  
分でどーぞ」と返ってきた。

これが、慈しみか？

平成20年12月分の販売実績

- 1 合板用出荷量を先月と比較すると、スギが約380㎡、カラマツが約470㎡、アカマツが約680㎡、全体で約1,530㎡増大している。また、昨年12月と比較すると、スギが約1,330㎡、カラマツが約3,760㎡増大し、アカマツが約660㎡減少し、全体で約4,430㎡増大している。工場別ではホクヨープライウッドが先月比較で約950㎡、昨年12月比較で約740㎡増大、北日本プライウッドは先月比較で約540㎡、昨年12月比較で約1,700㎡増大している。また、石巻2工場への出荷量は先月比較で約40㎡増の同程度となっている。なお、これら合板用出荷量のうちシステム販売取扱量は先月より約1,370㎡増の約940㎡となっている。
- 2 その他（合板用以外）の出荷量は先月より約400㎡減少し、昨年12月より約80㎡増大している。
- 3 年間計画量に対する11月までの目標出荷量の割合（目標達成率）を75.0%とすると、今月までの出荷状況は合板用出荷が計画どおり、その他（合板用以外）及び全体が計画を5%強下回った進捗状況となっている。

(㎡、%)

樹種	長級	販売先				計	累計				
		合板用					その他	合板用		計	
		ホクヨー プライウ ッド(株)	北日本プ ライウッ ド(株)	セイホク (株)、西北 プライ (株)	小計			樹種別割合			
スギ	2.0	2,731	1,917	1,248	5,896	223	7,579	50,771	58.4	4,685	77,797
	4.0	511	810	139	1,460			22,341			
	計	3,242	2,728	1,387	7,356			(1,954)			
カラマツ	2.0	3,190	391	345	3,927	24	5,427	23,896	27.7	1,185	35,818
	4.0	1,160	140	176	1,476			10,738			
	計	4,350	531	522	5,403			(772)			
アカマツ	2.0	1,245	711	59	2,016	0	2,342	15,833	13.9	13	17,477
	4.0	71	231	24	326			1,631			
	計	1,317	942	83	2,342			(219)			
その他針 広葉樹		0	0	0	0	49	49	0		477	477
合計		8,909	4,201	1,992	15,101	517	15,618	[1,419] (8,319)	100.0	6,829	132,038
目標達成率								75.4		68.3	67.4
計画量								166,000		10,000	196,000

長級2.0には2.1を含む ( ) はシステム販売取扱量(内数) [ ] はストックヤードからの出荷量(内数)

落穂拾い

今年の元旦、すなわち平成二十一年元旦、落穂拾い子は、恒例としている靖国神社に初詣参拝に出掛けた。

いつもの年よりも早い時刻に家を出たので、旧年中に神社に着いた。越し方の一年間自分の家に拝飾していた御幣、破魔矢、お守りを飾り物受取所に収めてから、早くも参道に出来始めている参拝者の列に並んだ。時刻がまだ新しい年に入っていないので、前方には五十メートルほどの列ができていたが参拝者の列に動きはなかった。その間にも自分の列の後方にどんどんと列ができていく。列を作っている参拝者を見ると、男女とも若者が多く、参列者の半数以上を占めており、今年も昨年よりも若者の割合が多いように感じられた。靖国神社参拝については、社会的かつ政治的に種々の事情・因縁があつて常に国内における騒動の元になつていく。この靖国神社参拝を巡ってはわが国の歴代首相があたふたと右往左往するのが毎年の恒例行事化している。そのような事情下にあつて筆者が不思議に思うことは、彼らが受けた教育内容からみて靖国神社参拝に対して拒否反応あるいは無関心な態度を示すと思われる年代、すなわち昭和年代の末頃から平成年代の初めに生れたと思しき若者たちが二・三、三人ないしは数人のグループで大挙して靖国神社参拝をすることにあり、そうこうするうちに夜中の

十二時を回って、平成二十一年の新年を迎え、参列者が前に進み始めた。筆者も最前列に達し、お賽銭を入れ、今年に対する思いを込めてゆつくりと二礼二拍一礼をした。列を離れて後を振り返ると、参詣客が一段と増えている。昨年

から続いていく世界同時不況の行く末が不透明であることへの焦燥感と何とか早くこの不況から脱却できることを願う皆の切なる気持が境内に充満しているようにも思えた。今年も札所で破魔矢とお守りを購入して帰路に着いた。そして帰宅後筆者は、浴槽の湯に入浴剤を入れて擬似温泉気分にしてほんのつかの間の安寧を楽しんだことであつた。それにして今年も、私たちが国民にとって極めて厳しい一年になるであろう。皆が一体となつて気持だけはしっかりと引締めてあらゆる事態に前向きに対応していくことが大切である。かの新渡戸稲造が、「人間は至る処に青山を造つていく。造り得るまた造るべきはずである。我輩はつねに人間至る処に青山あり」と言つており、ここで言う青山とは、「要するにこれもわれらの心の態度にほかならない。そして真実なる心の態度はじつにいつかの行為である。われらは絶えずこのことを記憶していなければならぬのである」と述べている。筆者は、今年一年、自分の心の中に青山を造り育てるとともに行為に結びつける努力をしようと考えている。